

農 研 速 報

平成 27 年 6 月 22 日発行



県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稲の生育状況(6月16日現在, 龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月27日	「あきたこまち」 幼穂形成期 「コシヒカリ」 最高分げつ期	「あきたこまち」 3日程度早い (幼穂長からの 出穂予測) 「コシヒカリ」 平年並 (主稈葉数の展開)	◇4月第6半旬～6月第3半旬は、平均気温が平年より高く(+1.7℃)、日照時間は平年よりやや多い。 「あきたこまち」は、6月16日時点の幼穂が平均1.2mm 確認でき、幼穂長から予測される「あきたこまち」の出穂期は平年より3日程度早く、7月12日頃(今後気温が平年並に推移した場合)。「コシヒカリ」の主稈葉数の展開からみた生育は平年並。平年に比べ、両品種の草丈は極く長く、茎数は並～やや多く、葉色は並～やや淡い。 ◆今後の栽培管理 (1)「あきたこまち」は間断灌漑を行う。ただし、減数分裂期頃(出穂前8～15日)に17℃以下の低温が予想される場合、障害型冷害を回避するため、水深10cm以上の深水管理を行う。 「コシヒカリ」は6月第6半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断灌漑に移行する。 (2)穂肥は幼穂長を確認し適期に行う。穂肥の施用時期の目安は「あきたこまち」で出穂前18～20日頃(幼穂長3～10mm)、「コシヒカリ」で出穂前15日頃(幼穂長30mm)、「ふくまる」で出穂前18日頃(幼穂長10mm)である。	間断灌漑は3～4日間隔で入水と自然落水を繰り返す。 ●縞葉枯病の防除 昨年、縞葉枯病の発生が認められた地域で、本年ウンカ類に登録のある薬剤で育苗箱施薬を行わなかった水田では、6月下旬にヒメビウカノ防除を行う。 ●いもち病に注意 気温20～25℃で、弱い雨や霧などが続いてイネの葉が長時間濡れるような条件のとき発生しやすいので注意する。 ●いもち・紋枯病の発生する圃場では、玄米千粒重の低下と乳白米の発生が懸念されるため、早期に防除を行う。

地域名	移植時期	生育ステージ	対平年遅速	生育概況及び今後の栽培管理	備考
茨城県 (龍ヶ崎市)	5 月 7 日	「あきたこまち」 節間伸長開始期 「コシヒカリ」 最高分けつ期	「あきたこまち」 5 日程度早い (主稈葉数の展開) 「コシヒカリ」 6 日程度早い (主稈葉数の展開)	<p>◇5 月第 2 半旬～6 月第 3 半旬は、平均気温が平年より高く(+1.6℃)、日照時間は平年よりやや多い。</p> <p>主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」で 5 日程度、「コシヒカリ」で 6 日程度進んでいる。平年に比べ、両品種の草丈は長～極く長く、茎数は並～やや多く、葉色は並。</p> <p>◆今後の栽培管理</p> <p>「あきたこまち」は 6 月第 5 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、その後は間断灌漑を行う。ただし、低温が予想される場合には、障害不稔の発生を軽減するため、穎花分化期～減数分裂期(出穂前 25～12 日)にかけて水深 10cm 以上の深水管理を行う。</p> <p>「コシヒカリ」は 7 月第 1 半旬(幼穂形成期)までに中干しを終了し、間断灌漑に移行する。</p>	

水 稻 の 生 育 状 況

(水田利用研究室)

表1 4月27日移植 (龍ヶ崎市, 移植後50日, 6月16日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	55.7	95 (58.7)	125 (44.4)	761	106 (721)	110 (691)	4.3	+0.2 (4.1)	-0.3 (4.6)	37.0	+2.0 (35.0)	-2.9 (39.9)	9.3	-0.6 (9.9)	-0.1 (9.4)
コシヒカリ	57.4	99 (57.8)	126 (45.6)	841	106 (790)	109 (773)	4.0	+0.5 (3.5)	-0.3 (4.3)	34.6	+1.9 (32.7)	-2.8 (37.4)	9.4	-0.5 (9.9)	±0 (9.4)
ふくまる	55.7	92 (60.4)	- (-)	689	103 (670)	- (-)	4.2	+0.6 (3.6)	- (-)	35.1	+1.9 (33.2)	- (-)	9.8	-0.8 (10.6)	- (-)

表2 5月7日移植 (龍ヶ崎市, 移植後40日, 6月16日調査)

品 種	草 丈			茎 数			葉色 (カラスケール)			葉色 (SPAD)			主 稈 葉 数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m ²)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
あきたこまち	46.5	95 (48.8)	123 (37.7)	728	117 (623)	110 (663)	4.8	+0.3 (4.5)	+0.1 (4.7)	41.8	+3.1 (38.7)	+1.3 (40.5)	9.4	+0.1 (9.3)	+0.6 (8.8)
コシヒカリ	46.2	94 (49.2)	118 (39.1)	803	113 (712)	111 (725)	4.4	±0 (4.4)	-0.2 (4.6)	38.1	+0.9 (37.2)	-0.3 (38.4)	9.5	+0.1 (9.4)	+0.8 (8.7)

注)栽培概要

1. 苗質 : 稚苗
2. 植え付け本数 : 5本/株
3. 栽植密度 あきたこまち・コシヒカリ 22.2株/m²
ふくまる 18.5株/m²

4. 基肥量 あきたこまち N : P₂O₅ : K₂O = 0.7 : 0.7 : 0.7 (kg/a)
コシヒカリ N : P₂O₅ : K₂O = 0.6 : 0.6 : 0.6 (kg/a)
ふくまる N : P₂O₅ : K₂O = 0.8 : 0.8 : 0.8 (kg/a)
5. 平年値 : 平成22～26年の5年間の平均値
ふくまるは平成25年からの調査のため平年値なし

表3 幼穂長からみた出穂期予測

移植時期	品 種	調査日	主稈幼穂長		出穂期予測		
			本年 (mm)	平年 (mm)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
4/27移植	あきたこまち	6/16	1.2	-	7/12	7/15	-3

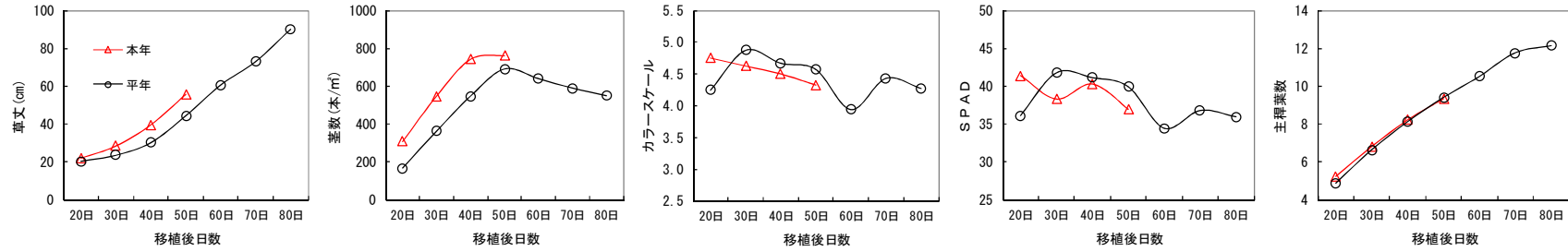
注) 予測は平成16、18年度成果「有効積算温度と幼穂長による水稻の出穂期予測」に基づく。

今後気温が平年並に推移した場合の予測。

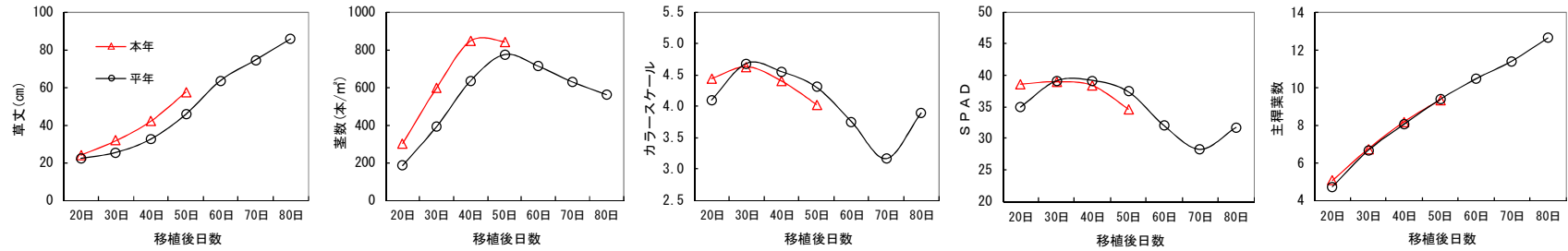
※ 平年は平成22～26年の出穂期の平均値。

平成27年の生育経過グラフ

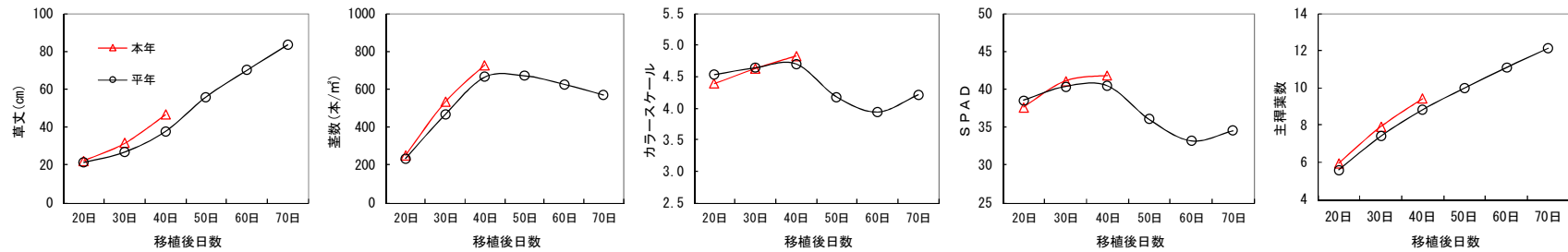
あきたこまち
4月27日移植



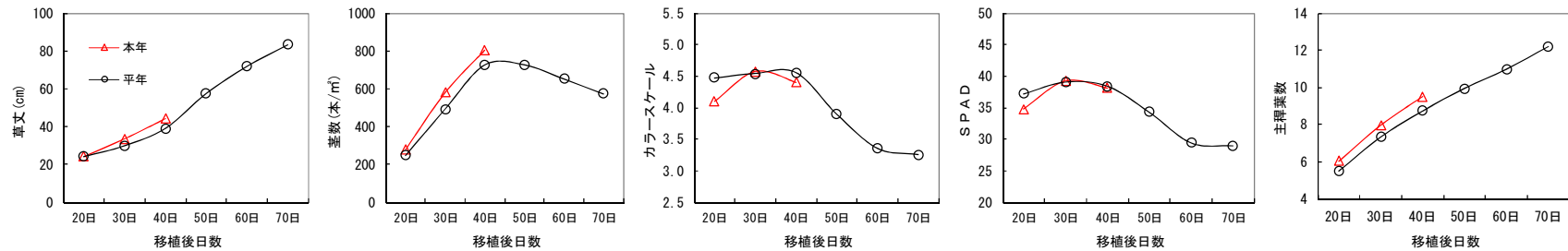
コシヒカリ
4月27日移植



あきたこまち
5月7日移植



コシヒカリ
5月7日移植



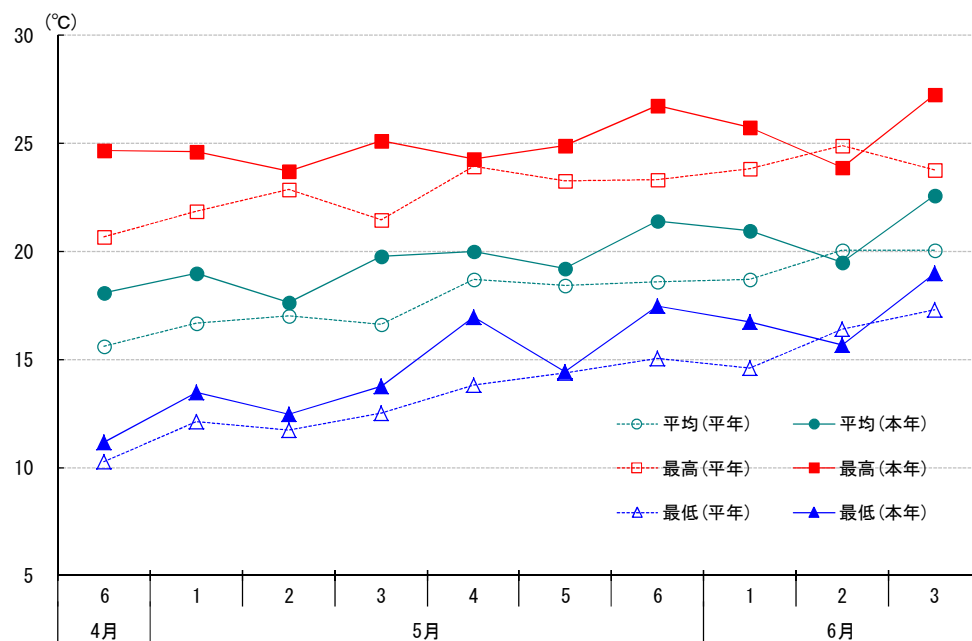


図1 半旬別気温の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H22～26年の5年間の平均値

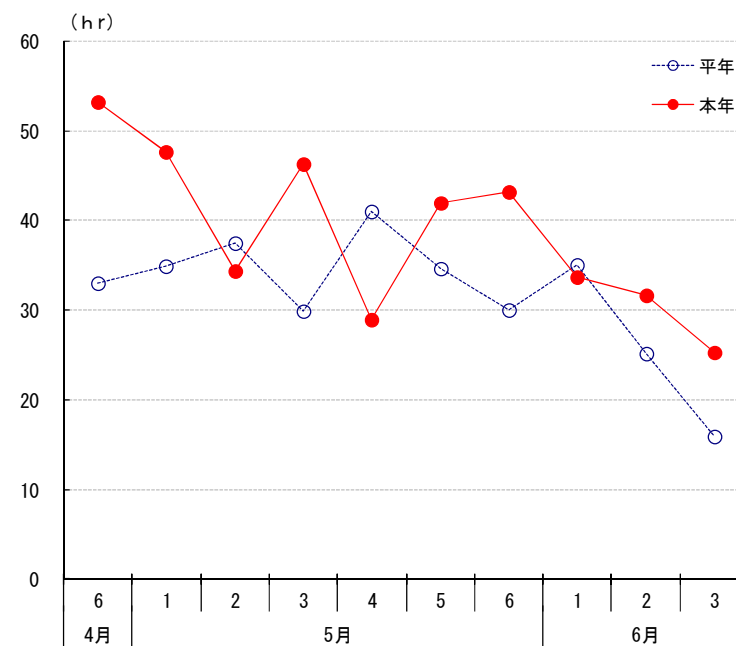


図2 半旬別日照時間の推移（龍ヶ崎市）

注）平年値：H22～26年の5年間の平均値

表4 移植時期別気象条件（龍ヶ崎市）

移植時期	期間	平均気温(°C)			積算平均気温(°C)			積算日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)
4月27日移植	4月第6半旬～6月第3半旬	19.8	18.1	+1.7	1012	921	+91	386	317	122
5月7日移植	5月第2半旬～6月第3半旬	20.1	18.5	+1.6	827	760	+67	285	249	115

注）平年値：平成22～26年の5年間の平均値

【 4 月 27 日移植の生育状況 】 撮影日:6/17

あきたこまち



コシヒカリ



ふくまる



【 5 月 7 日移植の生育状況 】 撮影日:6/17

あきたこまち



コシヒカリ

